

ふれあい西本郷小

令和5年度

8・9月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和5年8月28日(月)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子

キャッチフレーズ: あいさついっぱい みんながえがお 西本小

学校の様子は、学校HPをご覧ください。

「ありがとう」の合言葉

校長 活田 宏輔

久しぶりに学校に子ども達の元気な声と笑顔が戻ってきました。今年の夏休みは、例年にない猛暑の日が続き、各家庭での過ごし方も大変であったと想像します。

さて、この暑い夏休みの終わりに、熱い戦いを制し、神奈川県代表の慶応高校が全国高校野球選手権で優勝しました。髪をなびかせ笑顔いっぱいの快進撃を応援していた方もいらっしゃると思います。私は、高校生の笑顔でプレーする姿に魅了されました。決勝戦でも両チームに笑顔がみられ、特にピンチの場面での笑顔には憧れさえ覚えました。このピンチでの笑顔の秘密は、子どもたちにとっても大人にとっても、きっと参考になるものと思いました。森林監督の著書を読むと、ヒントが見えてきます。大人が子どもの力を信じて判断を任せることで、子どもが自分で考えて行動することが保証され、状況に応じたその時にできる一番の判断をする…たとえうまくいかなかったとしても、理由を考え次の行動をしてみる…この積み重ねが、ピンチをチャンスととらえる姿勢にもつながり、真剣勝負を楽しめるメンタルを培っているのです。

もう一つ、慶応高校で大切にしていることがあるそうです。それは「ありがとう」の言葉。チーム全体でこの言葉を大切にし、常に口に出して感謝を伝えているそうです。

「ありがとう」の言葉について、夏休み明けの朝会で話をしました。「ありがとうの反対言葉は?」と問うと、答えは返ってきません。実は私も即答できなかった問いです。ありがとうの反対言葉は、「当たり前」。これは、ありがとうの語源が、「有り難い」にあり、「有ることは難しい」の反対は「当たり前」であるからです。毎日当たり前に行えること、大切な家族がいること、友達がいること、自由に意見が言えること、やりたいスポーツができること…これらをよくよく考えてみると、当たり前ではなく奇跡の連続でしかないことに気づかされます。隣の友に「ありがとう。」と声をかけることは至極自然なことなのです。

全国の頂点に立ったすがすがしい高校生の姿に、大人も学びましょう。今日は家族に「ありがとう。」と声をかけたいです。

○夏休みの作品展について

・子どもたちが夏休みの自由研究で作った作品を、各教室前に展示します。保護者の方もご鑑賞できますので、次の期間でご来校ください。

保護者の鑑賞 9月 日()~9月 日() 9:00~12:00

○9月に、各学年別懇談会を、次の日程で行います。後日別途、お知らせが出ます。お忙しいことは存じますが、皆様のご来校をお待ちしております。

各学年別懇談会： 日() 個別支援級 日() 1年 4年 6年 日() 2年 3年 5年

○就学援助の追加申請を随時受け付けています。ご希望の方は、事務室へお申し出ください。

○9月22日(金)は、西本郷小学校の創立記念日です。昭和31年(1956年)に開校し、創立67周年になります。

○運動会を新型コロナ対策を考慮した時程・内容で 月 日()開催予定です。詳細が決まりましたら、別途、お知らせが出ます。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。今年度の運動会も、実施の様子をフォトスタジオのカメラマンが撮影し、インターネット上での申し込みによる販売をすることを予定しています。ご理解・ご協力を願いたします。

○6月の学校公開日では、ご参観いただき、また、アンケートをお寄せいただき、ありがとうございました。頂戴しましたご意見は、今後の学校運営の参考にさせていただきます、活かしてまいります。

○9月の学校カウンセラーによる教育相談日は、4日(月)、14日(木)全日、28日(木)です。教育相談をご希望の方は、児童支援専任教諭または養護教諭までお申し込みください。